

2017 年度 地域づくり市民活動応援助成事業 申請書類

記入例 を参考にご記入下さい。

申請書及び様式 1～4 (P 1～P 5) を
6 月 30 日までにご提出お願いいたします。

社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会

この助成事業の一部は共同募金配当金です。



2017年度 地域づくり市民活動応援成事業申請書

記入例

ふりがな	かこがわぼらんていあぐるーびえー		
団体（グループ名）	加古川ボランティアグループA		
2017年度申請金額 千円単位で記入下さい。	98,000 円		
ふりがな	しゃきょう はなこ	生年月日（西暦）	
代表者氏名	社協 花子	1967 年 4 月 1 日	
代表者自宅住所	〒675-0101 加古川市平岡町新在家1224-12		
電話	FAX	携帯電話	
079-424-4318	079-425-4711	090-0000-0000	
メールアドレス ※代表者以外でも可	kakogawavga@▲▲.jp		担当者 社協 太郎
発足年（西暦）	活動メンバー数	年間活動回数	
2007 年 4 月	10 人	12 回	
活動対象者（障がい者・高齢者・子どもなど）とその人数			
対象者	高齢者	人数	1回 20 人
主な活動場所の住所および名称・電話番号			
住所	〒675-8577 加古川市加古川町寺家町177-12		
名称	加古川市総合福祉会館	電話	079-400-0000
主な活動内容をご記入下さい。			
<p>活動は、月1回午前と午後に総合福祉会館に集まり、加古川町の高齢者宅を訪問し、希望に沿って家事や買い物の代行を1カ月に1回実施しています。</p>			

※太枠内をご記入下さい。

本会記入欄	グループNo.	2017年度助成金決定額
		円

◆活動をはじめたきっかけは？

ボランティア講座に参加していたメンバー10名で、何か地域の役に立ちたいとの思いから、簡単な家事や買い物のお手伝いをするボランティアグループを結成しました。

◆活動を通して、見えてきたこと、感じること。（地域の課題、活動の有効性等）

はじめはそんなボランティアのお手伝いを必要としている方はいるのかな？と思っていましたが、ちょっとした困り事を抱える高齢者からの要望があり、このような活動の必要性が大きいことが見えてきました。

◆みなさんが活動することで、地域住民のくらしをよくするために実現できた（できそうな）ことはどんなことですか？（具体的に記入ください。）

ちょっとした困り事を支援する私たちの活動を知ってもらうことで、不安（困り事）を抱えながら暮らしている人の生活が豊かになっていければと思っています。

また、私たちのような活動が広がり、住民誰もが、ささえあってくらししていける地域づくりの礎になっていければと考えています。

◆活動の質やスキルアップを図るための工夫（取り組み）はありますか？

- ① 定期的なメンバー同士の情報（活動内容）報告会の開催
- ② 地域のお手伝い課題を理解するためのアンケート調査
- ③ 自分たちの活動を地域に周知するためのポスターづくりと掲示。
- ④ 自分たちの活動と福祉サービスとの連携を見据えた、専門職との協議の場の設定

◆これからグループ（団体）活動をすすめていく上での課題。

（活動の周知、メンバー募集、運営費等）

ボランティア活動ということで、すべての要望には応えきれないこと。

ニーズの増加を踏まえ、活動メンバーを増やしていくことが必要である。

グループ活動を運営する財源確保が課題である。（安価な有償活動も念頭に）

活動を展開する地域の理解があれば、活動に取り組みやすい

◆これからの活動の上で、大切に考えていること。

高齢者などの単身世帯が増加する中、困り事を抱え地域の中で孤立してしまう人がでないよう、どんなことでも、まずは自分たちが受け皿となり、個人の課題を地域の課題として、みんなで支え、助け合える地域をめざし、活動に取り組んでいきます。

※太枠内をご記入下さい。

活動実績

様式2

- 2016年4月～2017年4月までの活動記録を記載してください。
- 練習やミーティングは記入しないでください。
- 13回以上活動している場合は用紙をコピーして提出ください。
- 新規開設で活動実績がない場合未記入のままご提出ください。

記入例

回数	年 月 日	活動場所	参加人数		実施内容等
1	2016年4月20日	福祉会館集合後、利用者宅訪問	ボランティア	10人	午前、午後高齢者宅に訪問し、掃除の実施。
			活動対象者	18人	
2	2016年5月18日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	17人	
3	2016年6月22日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	18人	
4	2016年7月20日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	18人	
5	2016年8月17日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	18人	
6	2016年9月21日	〃	ボランティア	9人	〃
			活動対象者	18人	
7	2016年10月19日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	20人	
8	2016年11月16日	スーパーで買い物後、自宅訪問。	ボランティア	10人	午前買い物を行い、午後高齢者宅へ持参。
			活動対象者	20人	
9	2016年12月23日	〃	ボランティア	9人	〃
			活動対象者	19人	
10	2017年1月18日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	18人	
11	2017年2月15日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	19人	
12	2017年3月15日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	20人	
13	2017年4月20日	〃	ボランティア	10人	〃
			活動対象者	20人	

※太枠内をご記入下さい。

2017年度 活動予算書

(1) 収入の部

記入例

様式3

費目	金額 (円)	内訳
①申請金額A	98,000	
②他助成金	0	
③メンバー会費	10,000	1,000円/年×10名=10,000円
④事業収入 (活動による収入) 参加費・グループへの謝金・雑収入	0	
⑤寄付	0	
⑥その他	0	
前年度繰越金	0	
合計B	108,000	

(2) 支出の部

費目	金額 (円)	内訳	
申請金額A	①事務消耗品費	4,000	コピー用紙、模造紙等
	②印刷製本費・通信費	3,000	資料印刷費
	③研究・研修費	30,000	講師謝金
	④材料費	9,000	活動用ジャケット製作費
	⑤会場費	3,000	研修会場所代
	⑥その他	49,000	プロジェクター (品番E●-▲1)
上記以外の支出	10,000	メンバー飲食代・ボランティア活動保険料	
次年度の繰越金	0		
合計B	108,000		

※(1) 収入の部①申請金額Aの金額と(2) 支出の部申請金額Aの合計金額が同額になるようにして下さい。(1) 収入の部合計Bの金額と(2) 支出の部合計Bの金額が同額になるようにして下さい。

※太枠内をご記入下さい。

2017年度 備品申請書（1点1万円以上のもの）

様式4

記入例

◆必要時のみ記入提出

1) 1万円以上の備品は、1点につき申請書を1枚提出してください。

※様式3の(2)支出の部⑥その他の金額・内訳にも記載してください。

2) 備品は助成額の半額以内とします。不足金額分は、自主財源を使用してください。

3) 見積書やカタログなどは、すべてA4用紙にコピーに添付の上、提出してください。

ふりがな	かこがわぼらんていあぐるーぷえー	備品申請金額（円）	49,000円
団体（グループ）名	加古川ボランティアグループA		

◆申請する備品について

購入予定商品名称	プロジェクター（品番E●ー▲1）	購入数量	1
購入品の説明（商品の特徴や選択理由を簡潔に記入してください）			
映写機。パソコンの操作画面やテレビ放送・DVDなどのビデオ画像をスクリーンに拡大して投影・表示する機器。管理の問題から、軽量サイズのものを選択しています。 低価格ですが、利用目的には問題なく対応できる性能があります。			
購入予定価格	49,000円		
購入予定月（西暦）	2017年 10月		
申請理由（活動する上で、商品の利用目的を詳しくお書きください）			
プロジェクターを購入し、今年度予定している講師依頼の研修で使いたい。 また内部ミーティングの際、活動報告や社協から貸与予定のDVDの試写会などで利用したい。			
この用紙以外の添付資料枚数	1枚		

※太枠内をご記入下さい。